

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 23-1-007

補助事業名 平成23年度 自転車競技の普及促進補助事業

補助事業者名 財団法人 日本サイクルスポーツセンター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ア. アジアサイクリングセンターの運営

アジア地域におけるトレーニングセンターとして、アジア各国の将来有望なトラック競技者及びそのコーチの中から希望者を募り、国内外においてトレーニングキャンプを実施することにより、自転車競技の普及振興と競技力の向上を図る。

イ. 自転車競技大会の開催

本センターの自転車競技施設を会場にして、自転車競技の初心者や自転車愛好者を対象にした競技大会を開催することにより、自転車競技を体験できる機会を創設し、自転車競技者の底辺拡大を図る。

ウ. サイクルスポーツクラブの運営

自転車競技愛好者を対象とした「伊豆サイクルスポーツクラブ」を運営することにより、幅広い年代に自転車競技への理解と認識を高め、自転車競技者の底辺拡大と競技力向上を図る。

エ. 自転車競技の地域普及啓発活動

近隣の小中学生等にロード・トラック・MTB・BMX等の自転車競技体験プログラムを提供することにより、自転車競技との出会いの機会を創設し、自転車による地域スポーツの振興を図る。

(2) 実施内容

ア. アジアサイクリングセンターの運営

[国内トレーニングキャンプ]

第1回トレーニングキャンプ；

6月に開催を予定していたものの、東日本大震災の影響により、開催を中止した。

第2回トレーニングキャンプ；

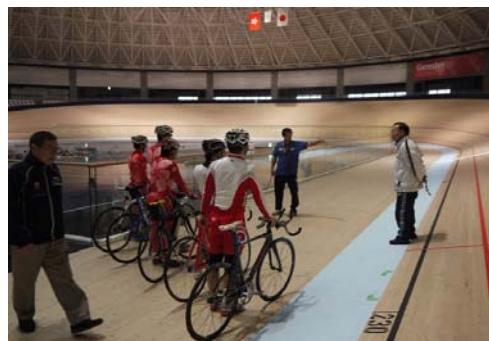
参加申込みのあった香港チャイナ・インド・ベトナムの3カ国のうち

インドとベトナムから直前になってキャンセルの連絡が入ったため、参加は1カ国3名であった。

- ・ 期 間：平成23年11月1日から11月14日（14日間）
- ・ 参加人数：1カ国3名（香港チャイナ：選手3名）
- ・ 練習内容：参加者の現有能力と将来性を考慮して、基礎的なプログラムに徹した。練習期間の大部分は屋内250mトラックの恵まれた競技場を最大限活用した指導・訓練となった。



香港から若い3名の選手が参加した



250mトラックでコーチの指示を受ける

[移動サブセンター]

CCC修善寺から指導員2名と事務局1名をタイ王国のバンコクへ派遣し、ACCトラックアジアカップ2011タイラウンド開催に併せた海外トレーニングキャンプを開催した。

- ・ 期間：平成23年8月30日から9月8日（10日間）
- ・ 開催地：タイ王国バンコク フアマーク競技場
- ・ 派遣スタッフ：3名
- ・ 参加人数：4カ国24名（選手17名、コーチ7名）
韓国：選手1名、ミャンマー：選手13名・コーチ4名、
タイ王国：コーチ3名、ベトナム：選手3名
- ・ 実施内容：前半には基礎的な技術習得と併せて体力面でもポテンシャルを向上させるプログラムによりトレーニングを実施した。後半は、ACCカップに出場する選手は個々の出場する種目に適したトレーニング内容を中心に取り組んだ。



ウォームアップ前のミーティング風景 トラック競技初心者も参加している

イ. 自転車競技大会の開催

サイクルスポーツの普及促進を図るため、トラック、ロード、MTB、BMXの各種自転車競技大会を本センターの自転車競技施設を会場に開催した。

[5時間耐久ロードレース大会]

- ・大会名：第14回CSC5時間耐久チームサイクルロードレース大会
- ・開催日：平成23年7月24日
- ・会場：5キロサーキットコース
- ・参加人数：147チーム、373名



午前10:00、5時間の熱戦がスタートした 147チーム・373名がフィニッシュを目指す

[MTB 24時間耐久レース]

- ・大会名：A&F MTB CUP 24h in サイクルスポーツセンター
- ・開催日：平成23年11月5日から11月6日
- ・会場：MTB特設コース
- ・参加人数：115名



MTB24時間耐久レースは、正午にスタートし、翌日の正午まで開催される。

[トラック競技大会]

- ・大会名：CSCトラック自転車競技大会2011夏（KID`S～マスターズ）
- ・開催日：平成23年7月16日から7月17日
- ・会場：400メートルピスト
- ・参加人数：95名



7歳から78歳までの95名が参加者



選手は2日間に渡り11種目を競った

[CSC月例BMX競技大会]

- ・大会名：2011-2012BMXチャッキーカップ
- ・会場：BMXコース
- ・開催回数：5戦（6/26、9/25、10/10、12/25、3/20）
- ・参加人数：60名



ジャンプはBMX競技の醍醐味のひとつ



整備されたコースを走る参加選手（小人）

[CSC月例クリテリウム大会]

- ・大会名：2011-2012 CSC クリテリウムシリーズ
- ・会場：5キロサーキット特設コース
- ・開催回数：9戦
（5/14、6/25、7/9、9/10、10/1、11/12、12/24、1/21、3/24）
- ・参加人数：405名



未就学児童の部から一般の部、全6カテゴリーで行われたクリテリウム
〔都府県対抗クリテリウム大会〕

- ・大会名：第3回都府県対抗クリテリウム大会
(CSCスーパークリテリウム2012winter)
- ・開催日：平成24年3月4日
- ・会場：5キロサーキット内特設コース（1周1km）
- ・参加人数：53名



寒いコンディションの中、1周1kmの周回コースを駆ける参加者たち

ウ. サイクルスポーツクラブの運営

地元のスポーツ少年団としても登録した「伊豆サイクルスポーツクラブ」において、トラック、MTB、BMXの各競技の実技指導を本センター指導員並びに外部指導員の協力のもと実施した。

〔自転車競技種目〕

- ・トラック競技；実施場所：400メートルピストほか
実施回数：36回、参加人数：963人
- ・MTB競技：実施場所：MTBコース
実施回数：26回、参加人数：209人
- ・BMX競技：実施場所：BMXコース
実施回数：23回、参加人数：224人



初心者でもトラック・ロード・MTB・BMX、全て参加可能

エ. 自転車競技の地域普及啓発活動

[自転車競技体験プログラム]

7月27日伊豆市立熊坂小学校を会場にMTB・BMX・おもしろ自転車を用いた啓発イベントを予定したが、当日雨天のため中止した。

2. 予想される事業実施効果

ア. アジアサイクリングセンターの運営

アジア地域において、トラック種目を始めとする各種自転車競技の普及、振興が図れるとともに、世界レベルで活躍できる選手が輩出できるものと思料する。

イ. 自転車競技大会の開催

自転車競技の初心者や競技経験のない自転車愛好者が参加できる競技大会を開催することにより、自転車競技を体験できる環境を整え、今後も継続することで、自転車競技者の底辺拡大が図れるものと思料する。

ウ. サイクルスポーツクラブの運営

幅広い年代に自転車競技についての理解と認識を高めていくことで、自転車競技愛好者の底辺拡大と競技力の向上が図れるものと思料する。

エ. 自転車競技の地域普及啓発活動

近隣の小中学生や一般愛好者に対し、各種自転車競技体験プログラムを提供することにより、自転車競技との出会いの機会を創設し、地元の自転車熱を高めることで、伊豆市標榜する「サイクルメッカ伊豆」の実現の一翼を担うことができるものと思料される。

3. 本事業により作成した印刷物

ア. アジアサイクリングセンターの運営

テキスト：トレーニングマニュアルA4、4/0c、5種、1,000枚

イ. 自転車競技大会の開催

[5時間耐久ロードレース大会]

開催案内チラシA4、1/1c、500枚

大会プログラムA4、1/0c、16p、450枚

[MTB24時間耐久レース]

開催案内チラシ、A4、2/0c、1,000枚

大会プログラムA4、4/1c、8p、100部

[トラック競技大会]

大会プログラムA4、1/0c、20p、150部

[都府県対抗クリテリウム大会]

開催案内チラシ、A4、1/1c、2,000枚

大会プログラムA4、1/0c、8p、300部

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：財団法人 日本サイクルスポーツセンター

住所：107-0052

東京都港区赤坂1-9-15

代表者名：会長 平 柳 豊（ヒラヤナギ ユタカ）

担当部署：総務部財務課（ソウムブザイムカ）

担当者名：財務課長 山口正美（ヤマグチ マサミ）

電話番号：0558-79-0001

F A X：0558-79-0008

E-mail：csczaimu@csc.or.jp

U R L：<http://www.keirin.go.jp>